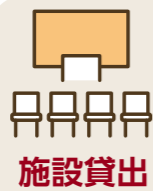


より良い授業運営のために。
本学のさまざまな授業支援サービスをご活用ください。

CTLT教室や端末室をはじめ、講堂、講義室などもスポット利用ができます。ゼミ合宿にはセミナーハウス等もおすすすめです。



施設貸出

LMSを中心に、オンデマンド授業や反転授業などの授業運営を効率化するICTツールをご提供します。



ICTツール

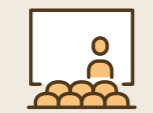


コミュニティ



サービス・窓口

教育手法に関する情報交換を目的とした「Faculty Café」を定期的開催しています。



セミナー・イベント

FD関連のオンデマンド講座の開講や、教育手法について各種セミナー、イベントを開催しています。



各種制度

資料印刷、ゲストスピーカー補助費やTA補助費など。各種制度は科目設置箇所にご相談ください。

ポータルオフィスではAV機器、ソフトウェアやクリッカー貸出し・利用方法の説明などを行います。

早稲田大学 大学総合研究センター CTLT

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104 早稲田キャンパス 7号館1F
Tel. 03-3203-6314 Fax. 03-5273-4396 E-mail. ches-staff@list.waseda.jp

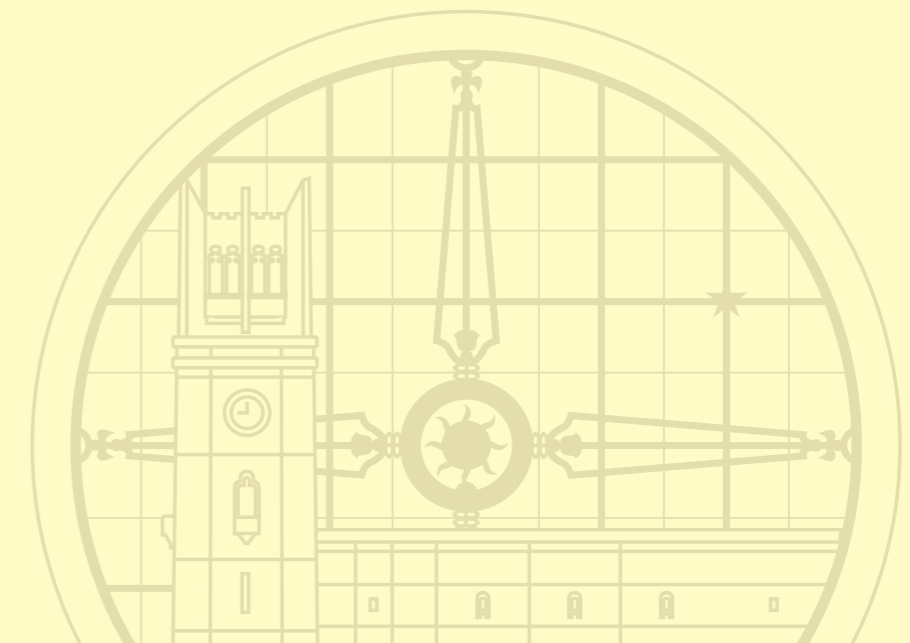
授業支援サービスの詳細は下記をご覧ください

URL www.waseda.jp/inst/ches @WasedaU_CHES facebook.com/waseda.ches



“教える” “学ぶ”を 支えるガイド

CTLT Guidebook [ICTツール編]



早稲田大学 大学総合研究センター 教育方法研究開発部門 (CTLT)

“教える”、“学ぶ”を活性化。 新しい授業スタイルの実現をサポートします。

早稲田大学が導入したLMS「Waseda Moodle」や、クリッカー等さまざまなシステムやICTツールをご活用いただければ、授業に関わる作業が効率化します。また、授業における学生とのコミュニケーション促進に役立てることもできます。

授業前・実施中にこんなことはありませんか？

wivia ※アプリ×Wi-Fi必要
ワイヤレスにPCやタブレット、スマートフォンとプロジェクターの接続ができます。(→P.06)

AFP-WAA
写真や動画、テキストが検索でき、著作権処理の必要がなく使用できるデータベースです(利用登録有)。

Waseda Moodle (LMS)
⇒ アナウンスメント機能
履修者に対して一括メールを送信することができます。(→P.04)

UDトーク
音声認識技術を使うことで、リアルタイムに字幕作成ができる補聴システムです。

わせポチ
タブレット、スマートフォンでクイズやアンケートをすることができるウェブ版クリッカーです。(→P.06)

学生のプレゼン資料をスムーズに投影したい

効果的に伝えるために、画像やテキストを豊富に使って教材をつくりたい

急な教室変更や休講の案内をしたい

聴覚に障がいを抱える学生にも積極的に参加してもらいたい

大人数でも、学生と対話したい。学生の授業参加を促進したい

授業の「困った!」を解決し「こうしたい!」を実現するために役立つ
ICT支援ツール
※上記は、一部機能の紹介です。

授業後にこんなことはありませんか？

Waseda Moodle (LMS)
⇒ 資料・動画コンテンツの掲載
科目ごとに教材や研究データ、論文、講義動画等を共有することができます。(→P.04)

Waseda Moodle (LMS)
⇒ 履修者管理
履修者の出席管理や、成績評価ができます。(→P.05)

Waseda Moodle (LMS)
⇒ レポート・課題提出
Wordファイルやレビュー機能で提出を受け付け。期限も厳密に設定することができます。(→P.05)

Waseda Moodle (LMS)
⇒ 自動収録機能
教室の常設カメラで録画しデータをアップロード。動画ファイルを学生と共有できます。(→P.04)

Waseda Moodle (LMS)
⇒ 類似度判定機能
Web上の情報や他の学生が提出したレポート等と比較し、その結果を数値で表示する機能です。(→P.05)

授業で使用する教材を学生にデータで共有し予習・復習に活用してもらいたい

履修者管理をスマートにしたい

レポートをオンラインで提出してもらい、セキュアに管理したい

授業の様子を収録したものを、復習用に学生に共有したい

学生のレポートに不正がないか気になる

授業の「困った!」を解決し「こうしたい!」を実現するために役立つ
ICT支援ツール
※上記は、一部機能の紹介です。



授業支援 ICTツールのご案内

ICTツールの積極活用で、高い学習効果が望める授業へ



Waseda Moodle

授業の効率化、学習成果の可視化に貢献する 早稲田大学のLMSです。



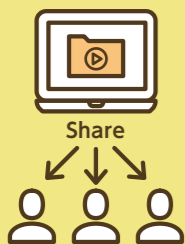
アナウンスメント機能

授業に関する重要なリマインドや、急な休講情報や教室変更、持ち物の依頼など、各種の「お知らせ」をWaseda Moodle上に掲載することができます。Web画面表示だけでなく履修者全員に一括してメールを送信できるので、授業の合間に学生に周知をしたい時に便利な機能です。



レポート・課題提出

履修者の理解度などを確認するために、Waseda Moodle上で履修者に課題を提示し、レポートや課題を提出してもらう機能です。毎回の授業の感想文の提出を課したり、小テスト機能などを使って自動採点できるような仕組みをつくることも可能です。テキストのほかWordやPowerPoint等のファイル形式に対応します。



資料・動画 ※1 コンテンツの掲載

授業で使用するPowerPoint等の資料や、撮影・編集された動画を履修者へ公開・共有することができます。履修者は予習や復習に利用でき、教員はペーパーレスに授業を展開、演習時間の確保にもつながります。



類似度判定機能

論文やレポートなどに盗用などの不正がないか検知することができます。学生が自らの論文に責任を持ち、適切な引用を行う支援をします。

※世界最大級の学術フルテキストデータベースと照合できるiThenticateシステムも導入しています。詳細はITサービスナビをご確認ください。



※1 動画コンテンツの作り方

方法 1 学内収録スタジオ

スタッフが収録から編集、アップロードまでをサポートします。

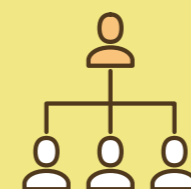
▼動画でご紹介
<https://youtu.be/mZPmQzdkSgU>



方法 2 自動収録機能

教室の常設カメラで自動収録、スタッフがアップロードをします。

▼システムのご紹介ページはこちら
<http://www.waseda.jp/navi/services/system/reccls.html>



履修者管理

Waseda Moodleで蓄積された履修者の成績を管理する機能です。課題や小テストなどのコンテンツごとに評価の重みづけの設定や自動計算による総合評価の算出などが可能です。

※最終成績の評価は別システムで入力して頂く必要があります。



Waseda Moodle マニュアル

<http://www.wnpspt.waseda.jp/teacher/wsdmoodle/>

※すべての科目の履修者情報は、科目登録をふまえて作成されておりますので、教員による設定は不要です。

わせポチ (ウェブ版クリッカー)

学生の授業参加促進や理解度の確認に活用



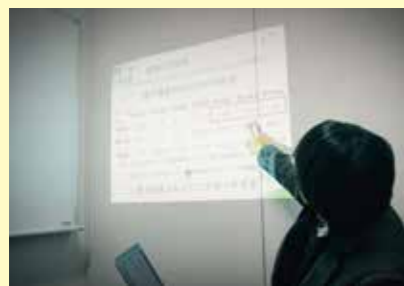
スマートフォン、タブレット、PCなどインターネットに接続できる端末を利用して、学生がリアルタイムに回答する機能が「わせポチ (ウェブ版クリッカー)」です。選択式と記述式の2つの形式を選んで出題し、集計結果のグラフや記述回答の一覧を表示することができます。



wivia

スマホからスライド・動画などをその場で共有

スマートフォン・アプリ「wivia (ワイビア)」を使えば、タブレットやスマートフォンのデータ (画像・映像) を、ワイヤレスネットワークを使用してプロジェクターやディスプレイに映し出すことができます。(※対象教室はITサービスナビをご確認ください。)



Box

学内外での情報共有・コミュニティを安全に促進

学生・教職員向けのオンラインストレージです。教育や研究の過程で作成する教材やノート、レポート、研究データ、研究論文等を学内外で共有だけでなく、研究成果としての資料・デジタルデータの保管、各種システムのデータ保管先としても有効に活用できます。



TV会議システム

離れた教室・会議室・イベント会場で送受信

インターネットを介して専用の機器同士を接続し、映像、音声、データ等をリアルタイムに送受信します。教室同士を接続したり、会議室同士を接続した遠隔会議、授業をはじめ各種講義、教育・研究を目的としたイベントにも活用できます。



他にも様々なICTツールをご用意しています。授業スタイルに合わせてご利用ください!

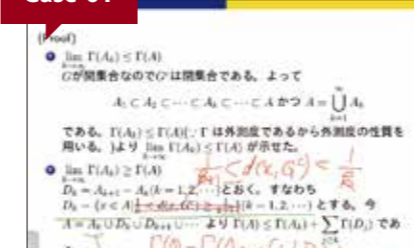
早稲田大学 IT サービスナビ

<http://www.waseda.jp/navi/>



こんな使い方もある! 実践例を参考にしてみよう
ICT ツール活用事例集

Case 01

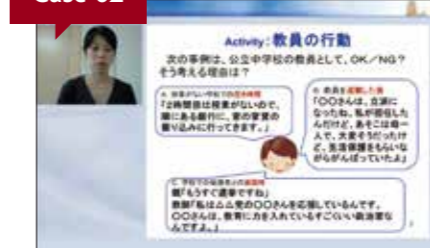


iPadを電子黒板代わりに活用。双方向利用も

佐々木 宏夫 商学大学院 教授

佐々木先生は肩のケガがきっかけとなりiPad・電子黒板を導入。iPadのノートアプリで書いた内容を教室のスクリーンに投影したり、学生もiPadを持ち、双方向利用できるアプリを使って同じ画面に書き込みながら議論するという手法も導入しています。(2016年度)

Case 02

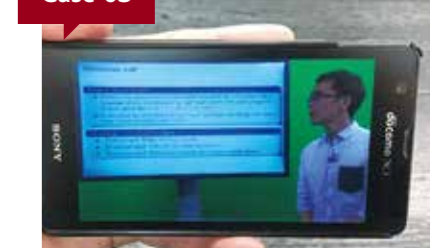


育児と地方在住。オンデマンド講座で授業を実施

米岡 裕美 教育・総合科学学術院 非常勤講師

出産などの事情で関西に住むことになり、オンデマンドを導入した米岡先生。講義部分を取り出してオンデマンド用の映像として配信し、教場に集まる時間は最大限話し合いに当てグループワークの質の向上に役立てました。(2014年度)

Case 03



国際コース開始を契機に、スマホでも視聴できる講義動画を導入

高安 亮紀 理工学術院 次席研究員
関根 晃太 理工学術院 助教
森倉 悠介 理工学術院 助教

学生は事前にLMSで日本語と英語のオンデマンド授業を視聴した上で参加し、教場では各自で演習問題に取り組みます。これまで不足気味だったプログラミングの演習時間を大幅に増やすことができました。(2015年度)

Case 04



映像に身振り手振りを確認、ディベートの予復習に役立てる

上野 達弘 法学学術院 教授

模擬裁判風のディベートを授業に取り入れている上野先生。自動収録とLMSを利用し、そのようすを動画で共有。学生は身振りや手振り、動作のクセといった立ち居振る舞いを目で見て確認できるため、より説得力のあるプレゼンの練習に役立っています。(2016年度)

Case 05



遠隔教育システムで海外の学生と国際的なテーマを議論

太田 宏 国際学術院 教授

早稲田大学と海外の複数大学をネットワークで結び遠隔授業を実施している太田先生。担当する大学の講義が、TV会議システムを使って他の大学にもライブ配信されます。学生は他国、他分野の学生との議論で教室だけでは学べない収穫があるといいます。(2012年度)

Read More!

Webサイト「早大教員の授業における Good Practice & Tips 集」では、より詳しい事例を紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://www.waseda.jp/inst/ches/ctlt/faculty/goodpractice/>



※教員の所属・資格は、2016年度のものであります。